

PATHMANAGER Version 4 をリリース

処理能力の大幅な向上と更なる機能の拡充

ITホールディングスグループの株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：高岡利光、以下クラウド・スコープ・テクノロジーズ）は、『PATHMANAGER Version 4』を本日より提供開始いたします。

PATHMANAGER Version 4 とは

当社の PATHMANAGER は大手通信事業者を中心にネットワークの監視、管理、分析を目的として、採用されてきております。また、最近ではネットワークのコア網だけではなく、VLAN モジュールの開発など、より端末に近いところまでその監視、管理の範囲を広げております。

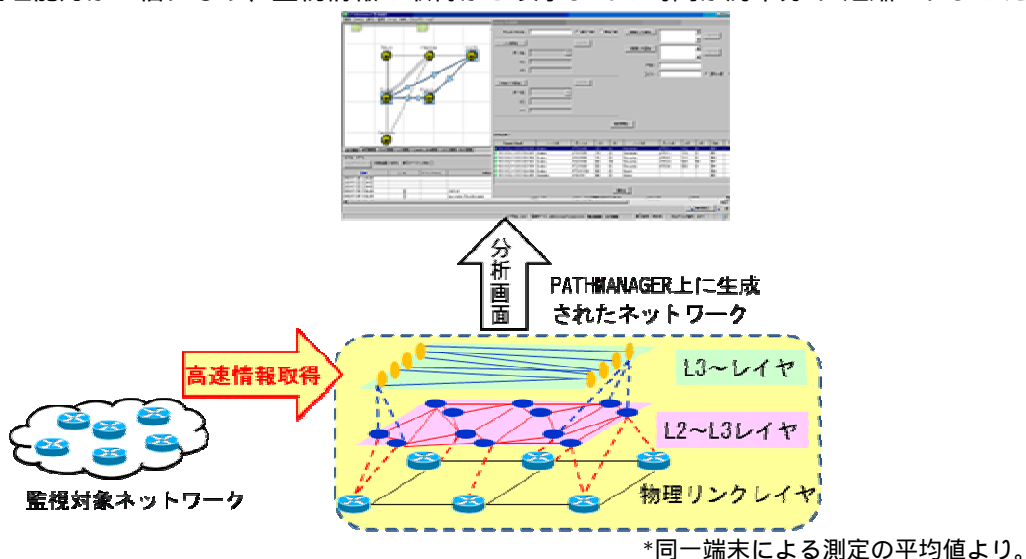
PATHMANAGER が監視、管理を実行するためには、ネットワーク機器からのさまざまな情報を自動的に取得し、処理する必要があります。しかし、対象となるネットワークの規模や監視範囲が広がることにより、PATHMANAGER が行う処理は膨大なものになってまいります。そこで、当社は PATHMANAGER の処理能力を向上させ、また運用されるお客様の利便性を高めるための機能拡充を継続的に行ってまいりました。そして、これらの改善及び機能拡充をとりまとめ、PATHMANAGER Version 4 としてリリースいたしました。

PATHMANAGER Version 4 の特長

今回リリースした PATHMANAGER Version 4 の特長は以下の通りとなります。

【処理能力の大幅な向上】

処理能力が2倍になり、監視情報の取得から表示までの時間が約半分*に短縮されました。



【機能の拡充】

追加機能（効果）	詳細
処理パフォーマンス向上対応	PATHMANAGER クライアント起動時の全ポート取得処理の時間を短縮しました。サーバ・クライアント間の通信の効率化、データベースまわりの改良、クライアントのフレームワークの見直しなどにより、大量トラップ受信時の動作速度の向上、検索時間の短縮などを実現しました。
アクティブイベントパネルから自動検出(Auto Discovery) 実行機能の追加	アクティブイベントリストのイベントコンテキストメニューから「AutoDiscovery 実行」を選択、実行可能になりました。
グループ・ノード間リンクの表示・非表示	グループ・ノード間リンクの表示・非表示」をメニューに追加し、表示・非表示の切り替えを選択できるようになりました。
イベントマスク詳細設定ダイアログに「監視対象/非対象の設定機能」を追加	計画工事などを識別するイベントマスク詳細設定ダイアログからイベントの「監視対象/非対象」を設定できるようになりました。
ソート機能追加	ポート詳細情報ダイアログ、トラフィック監視設定ダイアログでポート名による検索、ポート名カラムのソートを行えるようになりました。
基本機能+トラフィック機能リリース	トラフィック監視機能を実装し、トラフィック品質の監視、分析が可能となりました。
「トラフィック監視対象」項目を追加	ポート詳細情報ダイアログ、RSVP-LSP 詳細情報ダイアログに「トラフィック監視対象」情報が表示されるようになりました。
トラフィック量の可視機能を追加	RSVP-LSP のトラフィック量を監視画面に可視化できるようになりました。
P2MP-RSVPLSP イベント生成	P2MP-RSVP LSP に属する全てのサブ RSVP-LSP がダウンしたときに、P2MP-RSVP LSP イベントが生成されるようになりました。また、P2MP-RSVP LSP ダウン状態の場合に、その P2MP-RSVP LSP に属するサブ RSVP-LSP が1本アップしたときに P2MP-RSVP LSP アップイベントが生成されるようになりました。P2MP-RSVPLSP イベントとサブ RSVP-LSP イベントの相関関係を表示できるようになりました。
ポート番号固定設定	PATHMANAGER クライアント、サーバ間通信が使用するポート番号を設定により固定できるようになりました。
イベント履歴リスト RSVP-LSP 選択時表示時	イベント履歴リストの RSVP-LSP イベント選択時に、イベント発生後の経路とイベント発生前の経路のみが表示されるようになりました。
リアルタイムアイコン設定	イベント履歴ウィンドウのリアルタイムアイコンのクリックで、リアルタイム検索 ON/OFF が切り替えられるようになりました。
「障害状態の更新」機能の表示・非表示を設定ファイルから制御	障害状態の更新」メニューのサブメニュー(ノード、リンク、RSVP-LSP 等)の表示・非表示を設定ファイルから制御できるようになりました。
リンク単独削除制御機能	リンク単独の削除で、リンクを保護するローカルリペアが存在する場合は警告メッセージを出力するようになりました。
「アクティブイベントリスト保存(CSV)」機能出力情報追加	アクティブイベントリストの CSV ファイル保存機能において、コリレーション表示時には派生元、派生先の情報も CSV ファイルに出力するようになりました。
イベント履歴リスト保存(CSV)」機能出力情報追加	イベント履歴リストの CSV ファイル保存機能において、コリレーション表示時には派生元、派生先の情報も CSV ファイルに出力するようになりました。
イベント履歴検索条件追加	イベント履歴検索条件の「最大検索件数」に「3000件」の条件を追加しました。

クラウド・スコープ・テクノロジーズについて

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、株式会社インテック・ネットコア（本社：東京都江東区、代表取締役社長：荒野高志）が開発・販売してきた次世代のネットワーク管理・監視・分析システム **PATHMANAGER** の移管を受け、2008年7月1日に創業しました。 **PATHMANAGER** は、MPLS ネットワークの管理・監視システムで国内最大シェアですが、機能追加により以下の通り、新たなプロトコルへの対応を行ってきました。

VLAN
MPLS RSVP-TE
IP-VPN
ATM Pseudo Wire
P2MP-MPLS (Point to Multi Point MPLS)
Provisioning
ネットワーク AB 面の関連付け監視機能
ネットワーク帯域監視機能
シミュレーション機能
各種 API

また、今後も、OSPF, LDP, VPLS, 6PE などの管理・監視機能、サーバ監視機能などのリリースを予定しております。

PATHMANAGER について

PATHMANAGER は、ネットワーク上の「サービス」から「ネットワークセッション、パス、回線」、そして「ネットワーク機器」に至るまで関連するネットワーク上のリソースを『**見える化**』し、ネットワークサービスの設計時や障害発生時に必要なネットワークリソースを視覚的にわかりやすく操作できる管理・監視・分析システムです。

マルチベンダのネットワーク装置で構成されるネットワークを一元的に管理・監視・分析できる「**End to End の見える化**」を提供します。

サービス、ネットワークのパスやセッション、ネットワーク装置の関連性を一元的に管理・監視・分析できる「**Top to Bottom の見える化**」を提供します。

PATHMANAGER をご利用いただくことにより、オペレーションミス、判断ミスを極力少なくし、ネットワークサービスの運用コスト削減や、ネットワークサービスの質を高く保っていただけるようになります。

本件に関するお問合せ 株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業部 TEL：03-3403-8321 E-Mail：cloud-info@cloud-scope.com Web：http://www.cloud-scope.com/
--